

【はじめに】

本書はLearningCastでSSO(Single Sign On)の利用手順です。以下の手順に従って準備を進めてください。

【前提条件】

- ・ 認証方式がSAML2.0であること
 - ・ IdP側のメタデータをLC側に送っていただけること
 - ・ お客様側で、お客様の社外とのSSO認証の仕組みが用意されていること(ADFS/AzureADなどがあること)
 - ・ SAMLバインディング
 - ①SP-Initiated方式に対応していること
 - ②Redirect/POST Bindings方式に対応していること (LC→IdPへのリクエストをRedirectで送信、IdP→LCへのリクエストをPOSTで送信)
 - ・ IdPから送られるアサーションのNameID属性に、LCで利用するログインIDを送信すること
 - ・ LC側に認証セッション時間を教えていただけること (LC側の認証セッションのデフォルト値は12時間となります)
- ※LCの認証セッションがIdPよりも短いと、LC側でセッションが切れた場合に、IdPに認証情報の再要求してもエラーになってしまうことがあります

【フロー】

1. 【お客様作業】 LCからSP側のメタデータ(sp.xml)を取得していただく(LCにシステム管理者でログインし、ログイン中の状態で<https://dc2.learningcast.jp/{テナント名}/administration/DownloadMetadata>にアクセス)
2. 【お客様作業】 お客様側のADFS/AzureAD(IdP側)にsp.xmlを設定
3. 【お客様作業】 IdP側のメタデータ (idp.xml)を取得し、LearningCast担当に送付
4. 【LC担当作業】 いただいたidp.xmlをLearningCast担当が設定し、お客様に連絡
 - ※この時点までにお客様は「認証セッション有効時間」「フォーム認証を行う場合、行いたいログインIDの接頭辞」をLearningCast担当に伝えていただく
5. 【お客様作業】 動作確認(<https://dc2.learningcast.jp/{テナント名}/Login.jsp>はつけないでアクセス)

【備考】

- ・ 本番環境に反映前に検証環境で検証を希望される場合、LearningCast担当側にて検証環境を用意することは可能です
- ・ SSOを利用する場合、LCのログイン画面は基本的に使用しなくなるため、お客様側でLC内のログアウト画面の設定変更をお願いいたします(デフォルトではログアウト後にLCログイン画面に遷移するため)
- ・ パスワードはLCのものを使用しなくなるため、「運用管理>各種設定>アカウント情報の変更可否」画面にて「パスワード」をチェックを外すようお願いいたします
- ・ システム管理者など例外的にSSOを使わない場合、事前にLearningCast担当にログインIDの接頭辞ルールを伝えておくことで、該当する利用者は個別にフォーム認証を並行して利用可能です
例)接頭辞を"Biprogy_"と決めてLearningCast担当に連絡しておく、"Biprogy_001"ユーザなどは<https://dc2.learningcast.jp/{テナント名}/Login.jsp>にアクセスし、フォーム認証からログインする